

イオラニ、プナホウへの道



ドクター高橋俊明
心理学博士／ドクター高橋塾塾長
宮崎県出身。東京教育大理学部生物
学科卒業。東京教育大教育学部心理
学科で修士号取得、ハワイ大心理学
部で博士号取得。1968年に川崎市、
69年に文京区、そして77年にホノ
ルルに塾を設立。2019年はハナホウオリ校に1人、プナ
ホウ校に61人、イオラニ校に52人合格。平均合格率は
67.7%。

Web: www.juku-in-hawaii.com
☎808-949-3366 / 808-679-5612 (日本語)

【その215】SSATに向けて

前回に引き続き、6月に開催した受験説明会の要旨を述べます。今回は、SSATに関することです。

SSATのスケジュール

SSATの日程が、発表されました。10月19日、11月16日、12月14日、2020年1月4日、2月8日です。この内、プナホウ校4年生を受検する生徒の受けるElementary SSATは、12月から2月に実施されます。その内、2回までしか受けられませんが、プナホウ校低学年の可否審議会は3月に行われるので、2月のSSATの結果が届くのに十分な時間があります。

中学・高校を受験する生徒の受けるMiddle SSATとUpper SSATは、10月から何回受けてもかまいません。ただし、2月に受ける場合、2月の可否審査会が始まってからSSATの結果が届くので、志望校との調節が大事です。Ravenaを通してオンラインで申し込む時、いつSSATを受けるか入力しなければなりません。そのチェック欄に2月のものがない場合が一般的です。2月のSSATを受ける場合、来年の1月中に、志望校に連絡し報告する

ことが大切です。次に、受験説明会での体験談を紹介します。

体験談 1

息子はLate born (9月から12月生まれ。この場合、2回の受験可能) で、家庭教師をつけてプナホウ校の4年生を受検しました。しかしSSATの得点が非常に低く不合格となりました。そこで去年の7月から塾に週2、3回通い始めました。12月と今年の2月にSSATを受け、得点は一年前の数倍で、合格することができました。

この生徒の塾記録

塾で6月に行った学力審査で分かったことは、3年生を修了しているのに英語も算数もまだ3年生の半分しか理解していないということでした。これでは、5年生までの内容が含まれているSSATで15パーセント以下になるのは当然でした。そこで、夏休み中に残りの3年生と4年生の領域を習得するプランを立てました。60時間の個人教授です。その上で、秋学期中に、40時間の個人教授で5年生の内容を完了することにしました。最終的

にこの生徒は、1月末まで合計120時間の個人教授を受け、2月のSSATでVerbalが93パーセント、算数が77パーセント、Readingが64パーセントになりました。ちなみに12月のパーセント結果は、Verbal 88, Math 61, Reading 60 でした。

体験談 2

公立校に通う娘を自分たちで家庭教師をしてきました。しかし、5年生が始まる8月、プナホウ校とイオラニ校6年生を受検するため、プロの助けを借りようと、色々なLearning Centerを訪ねました。その結果、娘はこの塾を選びました。娘は塾で出会うすべての先生に非常に満足していました。8月から12月まで塾に通い、11月と12月のSSATを受けました。その結果、プナホウ校とイオラニ校に合格しました。

この生徒の塾記録

8月の時点で、英数とも5年生の40%を理解していました。そこで、合計80時間の個人教授で7年生の半分を習得する所まで行くプランを立てました。作文力も高く、塾の模擬試験で

も、11月の時点で合格安全圏に到達していました。

体験談 3

私たち親が日本から来たこともあって、娘の受験のプロセスには慣れないことが多々ありましたが、塾の担当者の方々に大いにヘルプしてもらいました。試験結果は、プナホウ校にもイオラニ校にもWaitingでした。そこで塾長に会って今後の対策を伺いました。ポイントは、〈娘の成績は、両校に合格してもおかしくないレベルである。あとは、本人も私たち両親も真剣に志望校に進学することを願っているということを示すことである。両親がそろって学校に向くことが大切である〉でした。

そこでアポイントを取り、最初にイオラニ校の面談がありました。担当者からは、娘の成績全般について「申し分ありません」との温かい言葉をいただきました。すぐその後、イオラニ校から「合格です」との通知をもらいました。そこで、予定していたプナホウ校との面談をキャンセルし、イオラニ校に進学することを決めました。